

広報としま TOSHIMA plus

区民の思いをのせて描く
としまの未来。



2025 年

4 月号

No. 2097

令和7年(2025年)4月1日発行

CONTENTS

令和7年度予算特集

新たな基本構想・基本計画の
実現に向けた第一歩

▶ TOSHIMA NEWS

新たな 基本構想・基本計画 の実現に向けた第一歩

一般会計の総額 1,705億9,300万円(前年度比11.5%増)

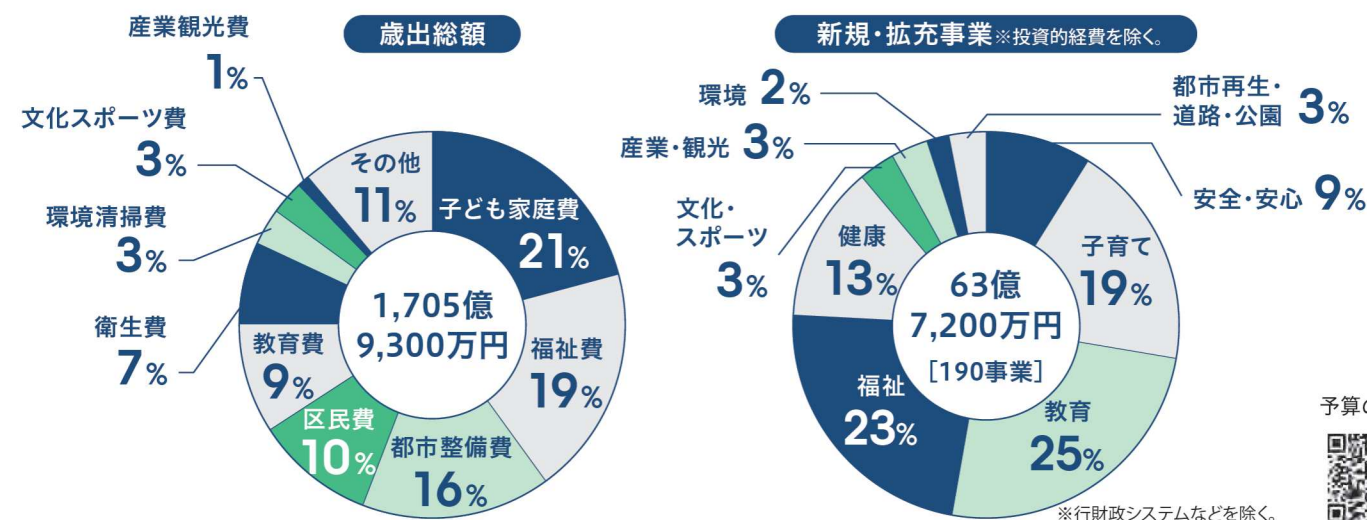
令和7年度予算は、新たな基本構想・基本計画に基づく初めての予算です。

新たな基本構想・基本計画は、豊島区が「こうありたい」という将来のまちの姿を描き、区の今後10年先の未来を描く羅針盤となるものです。策定にあたり、未来としまミーティング、区民ワークショップ、パブリックコメントなどの実施を通して、できるだけ多くの区民の皆さまの声をお聞きしながら検討をしてきました。今号では、豊島区のまちづくりの方向性ととも、令和7年度予算の特徴的な事業について特集します。

※令和7年3月12日時点の情報です。

令和7年度 予算の特徴

新たな基本構想・基本計画の実現に向け、安全・安心、教育、子ども・若者の孤独・孤立対策、住宅施策などに重点を置いています。特に、安全・安心分野は前年度比1.4倍を計上しています。



予算の概要



7つのまちづくりの方向性

「3つの理念」を土台として、区民の皆さまが自分のまちを誇れる、「住み続けたい」と思える、そして区外の方からは「住みたい、訪れたい」と思われる「憧れのまち」を目指します。

豊島区の目指す将来像 3つの理念



地域と共に支えあう 安全・安心なまち



【目指す姿】

地域で安心して生活できるよう、地域コミュニティの活性化をはじめ、災害・治安や住環境等への対策を、ハード・ソフトの両面から講じ、地域と共に安全・安心なまちづくりを進めます。

防災備蓄の 強化

女性の視点による 救援センターの環境改善 3,125万円

おりものシート、からだふきシート、保湿クリームなど避難者の健康を守るための備蓄品を新たに加え、救援センターの環境改善を図ります。



救援センターなど備蓄物資の拡充 2億5,771万円

備蓄物資を充実させ、備蓄倉庫の管理を委託することで災害即応態勢を強化します。

救援センターの環境改善

救援センターの環境改善のために、テント・エアベッドなどの充実を図ります。



▲テント



▲エアベッド

福祉 救援センター

高齢者や障害のある方など特別な設備が必要な人のために、たん吸引器や簡易トイレなどの備蓄を充実させます。

区有施設エレベーターへの 防災キャビネット設置

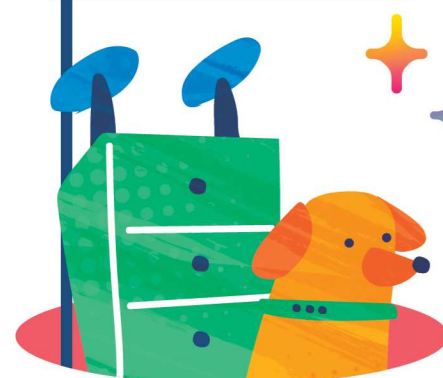
334万円

46施設・計71台への設置を3か年計画で実施し、エレベーターに閉じ込められた際の安全確保を図ります。



トイレ機能
もあり

災害時の避難者・ 要援護者への 支援強化



家具転倒防止器具(つっぱり棒・転倒防止器具など)の 購入および設置助成 150万円

◇対象…65歳以上のみで構成される世帯、介護保険の要介護3～5の方がいる世帯、愛の手帳または身体障害者手帳の交付を受けている方がいる世帯
◇助成額…1世帯あたり最大15,000円

人と動物の共生 650万円

- ①ペットの災害対策の強化
ペット同行避難訓練の実施、啓発など
- ②犬猫の譲渡を目的とした保護活動をしている団体への助成
- ③飼い主のいない猫の対策

地域での活動・ 交流拠点の充実



新たなひろば構想(豊島区地域区民ひろば構想)

特色ある区民ひろばの創造のため、新たに3つの取組みを開始します。

●目標

- ・学生、現役世代を中心とした新たな利用者の拡大
- ・誰もが気軽に利用でき、多様な主体が参加・交流する

●3つの取組み

1

地域とつなぐ
地域がつながる
地域で支え合う
ひろば

2

子どもは
豊島区の宝
子どもがいきいきと
過ごせるひろば

3

誰もが来られて
ふらっと入れる
コミュニティ
カフェ

地域区民ひろばコミュニティカフェの運営 (モデル実施2か所) 300万円

2か所の区民ひろばに常設のコミュニティカフェを設置し、特色ある区民ひろばの創造を図ります。



子育てしやすく、子ども・若者が 自分らしく成長できるまち



【目指す姿】

切れ目ないぬくもりのある支援により、安心して子どもを産み育てられる環境を作ります。

子ども・若者の権利が尊重され、希望を持って学び、自分らしく成長できる笑顔あふれるまちづくりを進めます。

子どもが安心して 過ごせる環境づくり

朝と帰宅時の児童の見守りの全校実施 1,925万円

働く保護者の「小1の壁」の負担を軽減し、仕事と子育ての両立を支援するため、4月10日(入学式翌日)からすべての区立小学校で朝夕の児童の見守りを実施します。

	おはようクラス (朝の見守り)	おかえりサポート (学童クラブからの帰宅時の見送り)
対象者	新小学1年生のうち、学童クラブ登録者で長期休暇中などの早朝利用を申請している児童	主に学童クラブ登録者
時間	平日 午前7時45分～登校時間	平日 午後4～6時
場所・方法	学校用務員が子どもスキップまたは校舎内で児童を見守る	シルバー人材センター会員が暗い道や交通量の多い通学路を安全な地点まで児童を見送る

※「おはようクラス」は通年、「おかえりサポート」は新年度当初時期と秋・冬に実施。

不登校対策の強化

6,581万円

増加する不登校児童・生徒の社会的な自立や学校復帰のために、多方面からの支援を強化します。

①全中学校への「不登校対策支援員」の配置

現在未配置の5校にも配置し、全8校で学校内の別室であれば登校できる生徒を支援します。

◇支援内容…学習および自立支援、悩み相談、家庭との連絡など

NEW

②チャレンジクラス(登校支援学級)「スリジエ」の開設

西池袋中学校に通常の学級とは別の学級を設置し、ゆとりある生活時程の中で1人ひとりの学習状況に応じた支援を行います。

◇対象…区内在住または区立中学校在学中、学校に通うことができない新中学1～3年生(国立、私立を含む)

◇支援内容…学習状況に応じた指導、ゆとりある生活時程での自立支援など

NEW

③「不登校対策スーパーバイザー」の新設

すべての教職員が不登校の児童、生徒の気持ちに寄り添った支援をできるように指導や助言をします。

◇支援内容…学校巡回や研修実施による教職員へ指導・助言、保護者対象の講演会などの実施、区立小・中学校全校の不登校対応など

NEW

④「不登校対応巡回教員」の配置

不登校対応専門の教員が各学校を巡回し、指導や助言をします。

◇支援内容…校内別室での不登校対応への助言、生徒への学習指導など

特別支援教育も体制強化!

特別支援教育指導員 20名▶24名
学級運営補助員 46名▶48名

人員を増やし
手厚く
サポート!

学びと成長を支える 教育環境の整備



電子黒板の整備 2,151万円

中学校指導者用デジタル教科書の導入 497万円

一体的に進めることで学習環境のICT化の充実に図ります。

学校プール遮熱対策(日よけの設置) 347万円

学校の改築・整備の推進

①千川中学校複合施設 2億9,542万円

②朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型小中連携校と総合体育場 4,100万円

③駒込中学校の改築および駒込地域仮校舎の整備 1億9,597万円

産前・産後支援



産後ケア 事業の拡充

9,797万円

利用
可能者数

- 訪問型 525名分(新規開始)
- 宿泊型 275名分→525名分
- 通所型 50名分→350名分

産後ドゥーラ利用助成の拡充 1,006万円

妊娠期～産後6か月の全世帯に産後ドゥーラの派遣を行うため、事業者に対する人件費や事務費などを増額します。

	令和6年度	令和7年度
対象	要支援家庭、ひとり親家庭、多胎児家庭	全世帯

子ども・若者の 居場所づくり



子ども・若者の居場所づくり 663万円

- ①子どもの居場所づくり 担い手である地域団体へ運営経費の補助をすることで、食事の提供や学習支援の場をつくります。
- ②若者の居場所づくり 都市再生機構(UR)と連携し、遊休地などを活用した若者の居場所づくりを進めます。

多世代近居・同居のための費用などの助成 600万円

子育て世帯が区内の親元で近居・同居するための引っ越し費用などを助成することで、親子で支え合いながら子育てができる環境の整備を図ります。

◇対象費用…住宅取得や賃貸、引っ越しにかかる初期費用など

◇助成額…最大20万円

所得制限
なし

子育てファミリー世帯家賃助成の拡充 4,597万円

区内に引き続き1年以上居住し、扶養している15歳以下の子どもがいる転居した世帯または多世代近居・同居支援事業を利用して区外から転入した世帯に対する家賃助成を拡充します。

所得要件	26万8,000円/月以下	▶33万8,000円/月以下
家賃上限	15万円/月	▶17万円/月
助成額	①3年目まで 2万5,000円/月 ②4年目から 1万2,500円/月	▶3万円(定額)

生涯にわたり健康で、 地域で共に暮らせる福祉のまち



【目指す姿】

誰もが心と体の健康が維持された生活を送り、自分らしく歳を重ねながら、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、本人が望む社会とのつながりや自立生活を支えるまちづくりを進めます。

地域医療 体制の充実



池袋保健所の本移転 65億1,485万円

令和8年度の開設に向け、新保健所の整備を進めます。



令和8年5月
開設予定

※イメージ

- 健康測定機器の設置や健康相談ブース、情報発信などの機能を充実
- 池袋休日診療所やあぜりあ歯科診療所・池袋あうる薬局もあわせて移転



※イメージ

▲区民の健康づくりの拠点整備



※イメージ

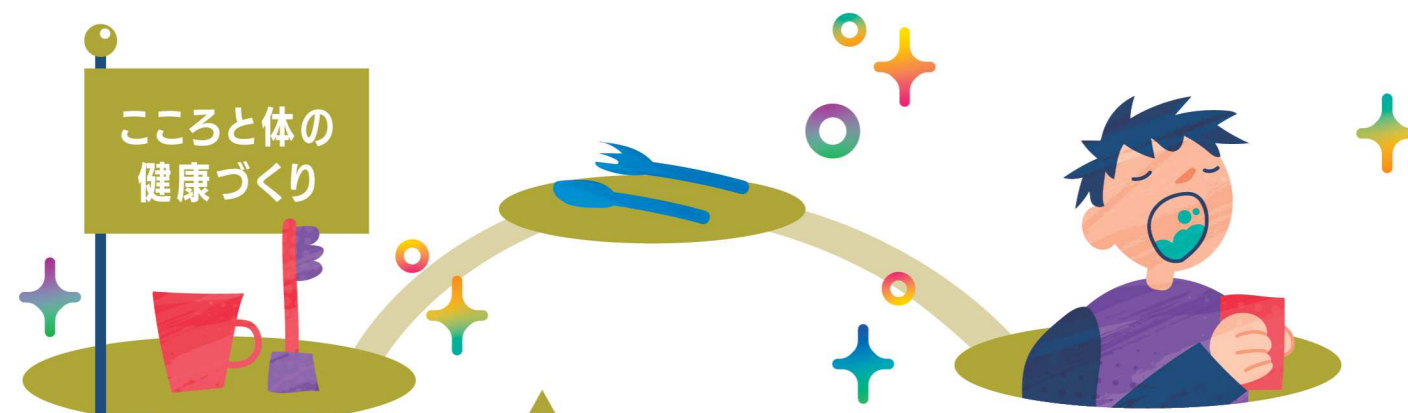
▲災害時は医療対策本部として機能

移転先



歩道橋で区役所側と
つながります！

こころと体の 健康づくり



ワクチン接種の費用助成

事業名	対象	助成額	事業費
区独自 おたふくかぜワクチン 2回目任意予防接種 一部助成	小学校入学前1年間の 幼児	3,000円	1,948万円
区独自 小児インフルエンザ 任意予防接種 一部助成	生後6か月～ 中学3年生	生後6か月～13歳未満 2,000円×2回 13歳～中学3年生 2,000円×1回	5,679万円
区独自 帯状疱疹ワクチン 任意予防接種 一部助成	50歳以上で、 帯状疱疹ワクチン 定期接種の対象外の方	接種費用の半額程度 生ワクチン 5,000円×1回 不活化ワクチン 11,000円×2回	6,158万円
新型コロナウイルスワクチン 定期予防接種助成	65歳以上の方、 60～64歳で 特定の基礎疾患のある方	自己負担額が3,500円に なるよう助成予定	3億7,722万円
子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種 延長対象者助成	キャッチアップ接種期間中 (令和4年4月1日～令和7年3月31日) に接種を開始した 平成9年4月2日～ 平成21年4月1日生まれの方	全3回接種のうち 残りの回数分の接種費用	3,589万円

コワーキングスペース設置運営と区民の健康増進 990万円

としまエコムーゼタウン(区役所本庁舎)2階にタニタ食堂が来店(ランチ営業)。
それ以外の時間は区職員が会議や打ち合わせなどのコワーキングスペースとして有効活用します。

在宅医療・介護連携の推進 1,092万円

医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会(4師会)などと連携した在宅医療の取組を実施。
ICTを活用した地域医療体制の充実を進めます。

高齢者の服薬相談および残薬整理相談 398万円

複数の処方薬を服用している高齢者などに対して、訪問相談などを実施し、薬剤師との相談機会を拡充します。

4

豊かな心と活発な交流を育む 多彩な文化のまち



【目指す姿】

地域の歴史や文化を守り伝え、新たな文化を受け入れ続けます。あらゆる人がより身近に文化を感じ、体験できる環境を整備しつつ、世界とつながるアート・カルチャーが交差するまちづくりを進めます。

スポーツの 機会の充実



高校生相当までの
スポーツ施設利用料の
無料化 500万円

スポーツ施設の
無料開放
(子どもの居場所・遊び場)
165万円



文化芸術への 参加・創造



多彩な文化活動で次世代を担う子どもたちを全力応援!

- ①としま文化の日の推進 400万円
- ②音楽によるまちづくり推進 800万円

区内の施設や公園などでの音楽パフォーマンスや、未就学児から鑑賞できる東京都交響楽団のコンサート、子ども向けワークショップを多数開催し、幅広い世代が文化芸術を楽しめる機会を提供します。



としま文化応援団
(仮称)が
一緒に盛り上げます

としま未来文化財団が区民などに参加を呼びかけ、子ども・若者の文化体験を応援する「としま文化応援団(仮称)」が発足予定です。

図書館の改修・改築

- ①上池袋図書館(令和8年6月オープン予定) 13億2,744万円
- ②千早図書館(令和10年4月オープン予定) 1億5,797万円

5

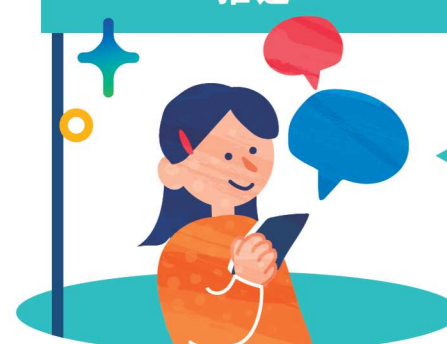
活気とにぎわいを生みだす 産業と観光のまち



【目指す姿】

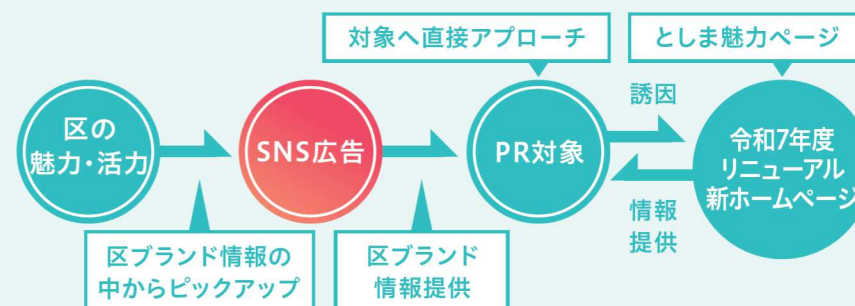
スタートアップを生みだすビジネスの成長と変革や、地域経済の持続的な発展を促進します。マンガ・アニメ等の地域資源を生かし、国内外の来街者でにぎわうまちづくりを進めます。

まちのプロモーションの 推進



区の魅力・活力のPR推進 944万円

SNSを中心としたPR広告を発信し、「としま魅力ページ(区ホームページに新設)」を閲覧してもらうことで、豊島区のイメージと認知度向上につなげます。



商店街の活性化と 中小企業支援



あきんど 商人まつりへの補助 2,145万円

商店街プレミアム付地域商品券補助 5,100万円



商店街 街路灯補修補助 180万円

空き店舗活性支援 1,094万円

豊島区民による事業提案制度で、令和6年度に3店舗がオープンしました。引き続き開店準備から開業に至るまでの伴走支援を行います。



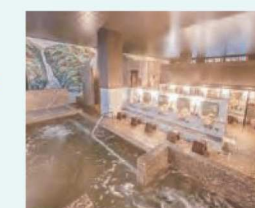
中小企業支援 3,750万円

区内の中小企業・個人事業主を対象に、販路開拓・拡大、デジタル化推進、専門家活用、人材育成にかかった経費の一部を補助します。

銭湯利用の促進 450万円

住民同士の交流促進と健康増進を目的とした支援に加え、季節湯の中高校生相当の入浴料を割引します。

- ◇対象…区内在住・在学の12～18歳
- ◇利用料…550円→200円(年4回まで)



共につくる 地球にも人にもやさしいまち



【目指す姿】多様な主体が相互に協力しながら都市のみどりを育み、清潔で美しいまちを創出します。

脱炭素地域社会づくりを推進し、良好な環境を次世代へ引き継ぐまちづくりを進めます。

良好な 生活環境の保全

コンテナ型公衆喫煙所の整備 1,737万円

ポイ捨て防止によるまちの美化向上、たばこの煙による健康被害の対策を目的に、来街者が多い池袋駅周辺に設置します。



▲公衆喫煙所イメージ

民間事業者等による公衆喫煙所設置等への助成 1,040万円

ゼロカーボンシティ 実現に向けた取組み

環境教育・啓発の実施 416万円

子どもからおとなまでを対象にした体験型イベントなどの実施を通じ、広く環境意識の啓発を図ります。



子どもたちの声を取り入れた環境基本計画を策定。ゼロカーボンシティの実現を目指します！

エコ住宅・エコ事業者普及促進 3,272万円

省エネ効果の高い機器や設備などの設置に関する費用の一部を助成します。

誰もが居心地の良い歩きたくなるまち



【目指す姿】次世代に誇れる魅力ある都市を創出します。池袋駅を中心に各地域の魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性が高く、誰もが安全で歩きやすいまちづくりを進めます。

ウォーカブルな まちづくりの推進

魅力あふれる公園づくり 976万円

様々な世代の公園利用者へのヒアリングやワークショップを行い、特色ある公園づくりを目指します。

●モデル地区

- ①巣鴨・西巣鴨、②高田、
③高松・要町・千川



池袋駅周辺地域の再生

①東西自由通路 (北デッキ)

北デッキ実現に向けた検討



②池袋駅西口地区(市街地再開発事業)

2024年11月 都市計画決定



③東池袋一丁目地区 (市街地再開発事業)

2028年度
竣工予定



④中池袋公園賑わい創出 (Hareza池袋エリアマネジメント)

公民連携による地域活性化



⑥西池袋一丁目地区(市街地再開発事業)

2018年3月 準備組合設立



⑤東口駅前再編 (クルドサック化)

東口駅前再編
整備計画の検討



⑧池袋駅東口地区

池袋駅東口地区まちづくり
協議会の運営支援

⑦グリーン大通り賑わい創出

公民連携
による
地域活性化



⑨南池袋二丁目C地区 (市街地再開発事業)

北棟2025年度竣工予定



⑩豊島区役所側⇄再開発エリア (横断歩道橋整備)

環状5の1号線整備と民間再開発が連携して進める歩道橋整備

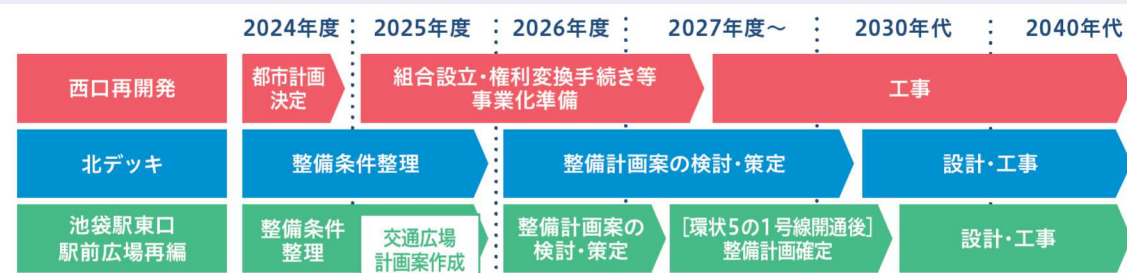
⑪IT tower TOKYO(総合設計)

2025年11月 竣工予定

⑫南池袋二丁目28番街区地区(市街地再開発事業)

2021年12月 準備組合設立

池袋駅西口地区市街地再開発事業の都市計画決定を踏まえ、さらに駅の再生を推進します。



池袋駅周辺まちづくり事業 4,028万円

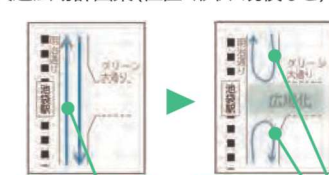
東西自由通路(北デッキ)

北デッキ実現に向けた整備条件整理



東口駅前再編(クルドサック化)

交通広場計画案(位置・形状・規模など)作成



池袋駅東口地区

まちづくり協議会の運営支援



区民の思いをカタチに+

～豊島区民による事業提案制度～

豊島区をよりよくするための事業を区民の皆さんから募集・投票で決定し、予算化しました。

☎ 政策経営グループ ☎ 03-4566-2519



6つの提案を5つの事業に再編成

災害に強い地域づくり

1 デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信 39万円

- 発災時に池袋駅周辺の帰宅困難者に対して、池袋西口公園・としま区民センターのサイネージを活用して情報発信を行えるようにします。
- サイネージのシステム改修や運用ルール整備のほか、民間事業者との連携も進めています。



帰宅困難者対策訓練の様子

2 防災を楽しく学ぶ体験型イベント 350万円

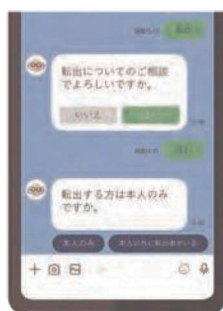
- 防災フェスなどに、スポーツの要素を取り入れたブースや、自宅から避難所まで歩いて作る防災マップの作り方ブースを設け、防災について遊びながら学べる機会を提供します。



人にやさしいデジタル化社会の推進

3 LINEを活用したオンライン申請等プラットフォームの導入 469万円

- 手続きのオンライン化に向け、LINEで必要な届出や給付金の申請をダイレクトに行える環境を整備し、区民サービスの向上を図ります。



※イメージ

4 保育園の連絡手段のオンライン化 135万円

- 園と保護者との円滑なコミュニケーションと利便性の向上のため、連絡帳をオンライン化します。



※イメージ

5 町会活動のデジタル化促進 300万円

- 伴走型支援(一例)
 - 町会LINE公式アカウント導入支援
 - ▶ 掲示板や回覧板の電子化で事務効率UP!
 - 町会ホームページ作成支援
 - ▶ 作成後の運営や更新作業もサポート
- 情報交換プラットフォームの立ち上げ
 - ▶ 次世代役員間のツールとして活用



※投票時の事業名と異なる場合があります。

4月1日からの区の組織です

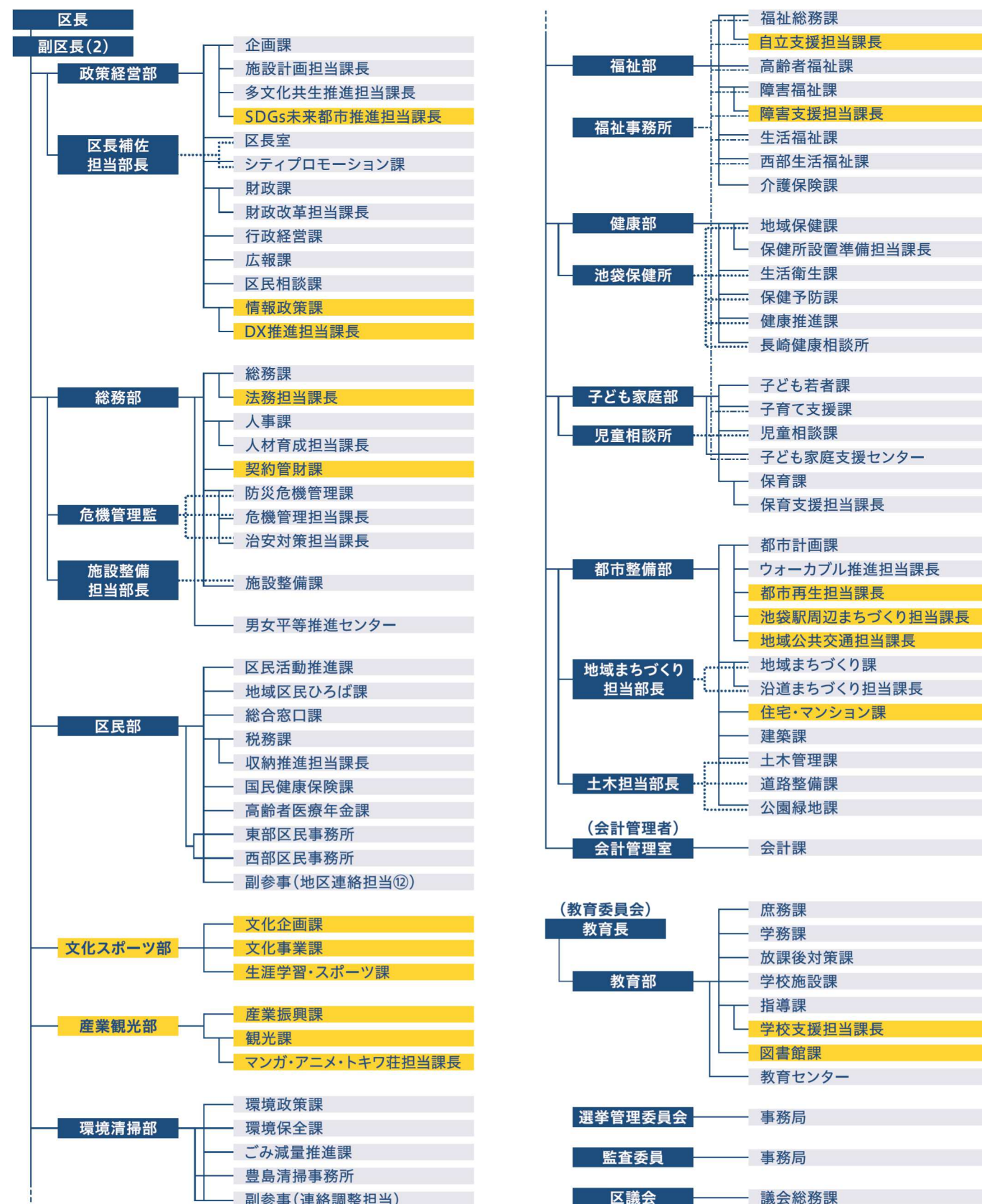
豊島区が目指す将来のまちの姿の実現に向けて、施策をさらに推進していくため、部や課の新設・廃止・統合・名称変更などにより組織を改正します。

詳細はこちら▶



☎ 行政経営グループ ☎ 03-3981-4970

※ は新規に設置、名称変更した組織です。



PICK UP INFO ①

土曜日の開庁について

窓口	業務内容	開庁日	問い合わせ先
3階 総合窓口課	住民票、戸籍に関する証明書の発行 引っ越し、印鑑登録、 マイナンバーカードなどに関する業務※ 戸籍の届出 ※第3土曜日を除く。	3月30日(日)・ 4月6日(日)は 臨時開庁します 毎週土曜日	証明グループ ☎03-3981-4766 住民記録グループ ☎03-3981-4782 戸籍グループ ☎03-3981-4737
3階 税務課	納税相談、税証明書の発行	第2 土曜日	税務課 ☎03-4566-2362
3階 国民健康保険課	給付を除く全般		国民健康保険課 ☎03-4566-2377
4階 福祉総合フロア	福祉部休日窓口業務 (福祉総務課・介護保険課・障害福祉課)	第2・4 土曜日	福祉総務課 ☎03-4566-2421 障害福祉課 ☎03-3981-2141 介護保険課 ☎03-3981-1942
4階 子育てインフォメーション	子育ての各種窓口や手続きの案内・相談など		子育て支援課 ☎03-4566-2478
4階 区民相談コーナー	一般相談		区民相談課 ☎03-3981-4164

◆窓口受付時間…午前9時～午後5時。業務内容により受付時間が異なるため、ホームページを確認してください。◆閉庁日…日曜日、祝日、年末年始、システムメンテナンス日(5・8・11・2月の第3土曜日)。

◎利用者用電子証明がついたマイナンバーカードがあれば、コンビニエンスストアで住民票・印鑑証明書・税証明書などが取得できます



◎来庁せずにできる手続き一覧はこちら



PICK UP INFO ②

豊島区役所
コールセンターの
開設時間が変わります

◆4月1日から…午前8時～午後6時
※3月31日までは午前8時～午後7時です。

問 コールセンター ☎03-3981-1111
(年中無休)

PICK UP INFO ③

4月から
広報としまの
発行日が変わります

◆発行日…毎月1・15日 ◆配布方法…
新聞折り込み、駅スタンド・区施設への
配架など。今後もわかりやすく情報
発信していきます。ぜひご覧ください。

問 広報グループ ☎03-4566-2532

国勢調査の
調査員を
募集しています

本調査は日本に住むすべての人・世帯が対象です ◆調査
期日…10月1日
◆募集内容…2次
元コード参照。



問 統計調査グループ
☎03-6852-0041

区長 COLUMN

「新たな第一歩を踏み出す予算」

3月末、区民をはじめ区内団体・企業・大学等、本区に関わる皆様とともに策定した新たな「豊島区基本構想・基本計画」。新たな基本構想の策定は22年ぶりになります。令和7年度当初予算は、この策定過程でいただいた数多くのお声に、できる限り応えられるよう、区職員一丸となって検討してまいりました。新規・拡充事業は190事業、64億円です。特に、安全・安心、教育、子ども・若者の孤独・孤立対策、住宅施策に重点を置き、区民提案制度で選定された6件の提案も含んでいます。今回の「広報としま」では、新たな基本構想・基本計画でお示ししている「7つのまちづくりの方向性」に合わせ、それぞれ予算の柱となる事業を紹介しています。豊島区の新たな未来へ向け、大切な第一歩を着実に進めてまいります。

豊島区長
高際みゆき



人口と世帯

令和7年3月1日
※()は前月比

人口総数
294,166 (-304)

男 147,453

女 146,713

うち
外国人数

36,250
(-147)

世帯数

187,642
(-261)

